

世界平和の願いを込めた錦鯉 寄贈のお知らせ

このたび、錦鯉の世界においては国内外で著名な親鯉である【スーパー紅白】の産んだ最後の二歳魚八尾が、世界平和を願い三好養魚場様より総本山仁和寺に寄贈されましたのでお知らせいたします。

真言宗 総本山仁和寺（真言宗御室派仁和寺 京都府京都市右京区御室大内 33）

仁和四（888）年第五十九代宇多天皇によって開創された仁和寺は、天皇の御入室以後、1000年の間、明治の純仁法親王まで皇子、皇孫が仁和寺の門跡（住職）を務められました。そのため、「御室御所」と呼ばれるようになり、門跡寺院の筆頭格として現在まで法灯を守り続けてきました。

宇多天皇以降、皇族が歴代門跡に就任することによって、歴史上の人物、朝廷、文化人と緊密な関係を築き上げてきました。

特に平安時代の頃には、鎮護国家の道場としてだけでなく、貴族、また当代の有名歌人が集い、度々和歌会が開催されるなど、仁和寺文化と言われるまでの一大サロンを形成するに至ってりました。

『大鏡』『平家物語』『栄華物語』等々の有名な古典文学には、密教を伝えるだけでなく、文芸、絵画、建築等、文化を発信する場としての御室御所の姿が描かれております。

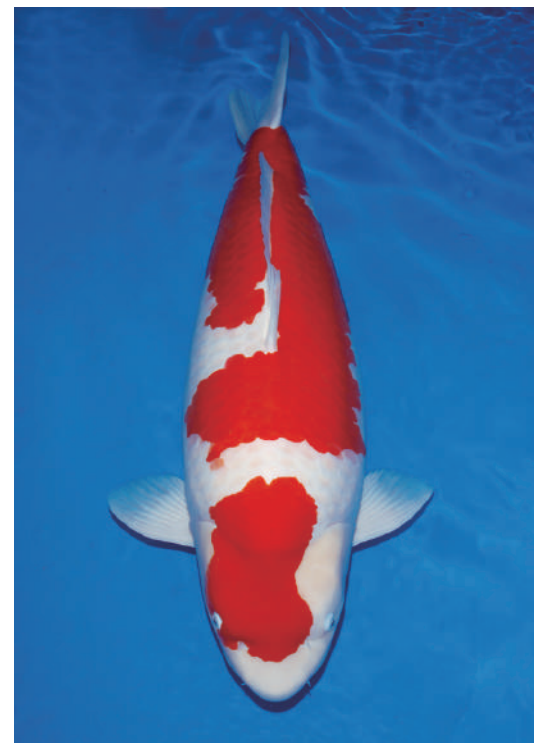
錦鯉【スーパー紅白】の“奇跡の子どもたち”の寄贈について

このたび奉納いただくことになりました八尾の二歳魚は、新潟の大日養鯉場で生産された【スーパー紅白】という名前の母親から生まれました。

【スーパー紅白】は、歴代の錦鯉品評会に出品された中で一番大きな紅白として有名です。全国大会での『ジャンボ賞』という賞歴も持っている、由緒正しい血筋の鯉です。

【スーパー紅白】は、2001年に生まれ、一歳の時より体長105cmになるまで、三好養魚場の四万十野池で育ちました。通常錦鯉は、十歳前後で産卵するもので、三回ほど産卵すると亡くなるものですが、このたび寄贈された二歳魚たちは、【スーパー紅白】が二十歳を超えてから産んだ奇跡の子どもたちです。【スーパー紅白】は残念ながらこのお知らせの直前に新潟で亡くなりましたが、親鯉としては日本最高齢の、大変生命力の強い鯉でした。

このたびこの生命力の強い【スーパー紅白】が産んだ子どもたちを、世界平和の願いを込めて、三好養魚場様が仁和寺に奉納くださることとなりました。



錦鯉【スーパー紅白】

錦鯉寄贈に至る経緯

世界平和への願いと、自然環境への配慮

錦鯉が放流されることになったのは、国指定名勝の宸殿北庭の池です。池の上方には、大日如来が安置されている五重塔を望むことができます。大日如来は、【スーパー紅白】の生まれた大日養鯉場の名前の由来となった仏様であったことから、ご縁を感じられた三好養魚場の三好様より、世界平和の願いを込めた奉納のお申し出をいただくことになりました。

仁和寺は、広大な境内地を有する世界遺産として、多くの参拝者を受け入れております。そこで、地球温暖化への対策や、延いては、生物多様性の保全も視野にいれた取り組みなど、持続可能な地域を実現していくことを念頭において活動しております。

今回お話を進めていく中で、三好様ご自身が、納豆菌の働きにより鯉のフンそのものが水質浄化を可能にする画期的な鯉の餌「金の四季」を開発されていることから、餌とメンテナンスも加えた奉納という形で、仁和寺の自然環境に対する取り組みを支援してくださることとなりました。

錦鯉 寄贈の概要

奉納日	:	令和4年6月21日
奉納法要	:	同日13時30分 門跡導師
場所	:	国宝 金堂
奉納者	:	三好養魚場

錦鯉 ご奉納に寄せて

「登龍門」の言葉のとおり、鯉は滝を昇って龍になると申しまして、古くから大変縁起の良い生きものとされてきました。

ここ仁和寺は第59代宇多天皇が仏様のお弟子となって建てられたお寺です。私は毎朝、歴代門跡の位牌をまつる靈明殿でお勤めをしております。その近くに、今回ご奉納いただいた錦鯉が泳いでいることは、なんとも縁起の良いことであると喜んでおります。

このたびご寄贈いただいた錦鯉たちを、人々の幸せを願う祈りの気持ちとともに守り伝えていくことができると考えております。

令和4年6月

真言宗御室派 総本山 仁和寺
第51世 門跡 瀬川大秀

本件に関するお問い合わせ先

総本山 仁和寺 財務部 管財課 金崎・岩崎
電話：075-461-1155 メール：gishin-kanazaki@ninnaji.jp